

UMC-Japanese Ministry  
11 Highgate Terrace  
Bergenfield, NJ 07621 [USA](#)

## 新サーキットライダー2013年3、4月号



ラファエロ、キリストの復活、1499-1502

**U**nited **M**ethodist **C**hurch - **J**apanese **A**merican **M**inistry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor : Rev. Dr. Jun Yoshimatsu 牧師 : 吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: [www.umc-japan.org](http://www.umc-japan.org)

## 復活は勇気と力を与える

ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、この一切の出来事について話し合っていた。話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。(中略)「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

### ルカ 24 : 13 - 35

メトロポリタン美術館に17世紀スペインの画家ベラスケスの描いた「エマオの夕食」という絵があります(下、写真)。



復活後のイエスが女性たちに現れた後、二人の弟子に現れて彼らと共に食事をしている絵です。彼らは、いつもイエスの傍にいた12弟子ではなく、それに準ずる弟子たちで、一人はクレオパと記されていますが、もう一人は名前も書かれていません。物語りはその二人がイエスが十字架刑で亡くな

り、生きる目標を見失い失意の内にエルサレムからエマオという村に向かう途中での出来事です。

二人はイエスが十字架にかけられ希望を失い、「これからどうしたものか」と思案をしながら歩いていました。そんな二人にイエスご自身が急に現れ声をかけられました。普通だったら12弟子ほどではないにしても3年近くもイエスの伝道に関わっていたら、直ぐにイエスだと分かるのではと思うのですが、悲しみに二人の目は覆い隠されてしまいイエスを認めることができませんでした。

そこでイエスが何を話しているのか尋ねると、彼らは「イエスこそイスラエルを(ローマ帝国支配から)解放してくれる預言者だと思っていたが、祭司長たちの陰謀で十字架に架けられ亡くなってしまった・・・」と本人にとうとうと話しました。それを聞いていたイエスは十字架に架かったがそれは終わりではなく「復活によって旧約聖書の初めから語られていた神の救済が完成された」ことを彼らに解き明かしました。しかし二人はそれでも旅を同行しているお方がイエス本人だとは気付きませんでした。

夕も迫り、彼らはイエスに「是非一緒に泊まって下さい。」と誘い、一緒に宿に泊まりました。そこで夕食となります。イエスが感謝の讃美と祈りを捧げパンを裂いた時、初めて彼らはその仕草から、パンを裂いたのがイエスであることを悟りました。何故ならその姿は十字架に架かる前夜の最後の晩餐(過越しの食事)の再現のようだったからです。

ルカは「二人の目が開け、イエスだとわかった・・・」と書いています。これは勿論霊の目、信仰の目が開けたということです。つまり彼らは失望、悲しみに霊の目が完全に塞がっていましたが、復活のイエスと出会い、再び霊の目が開かれ信仰が強められたのです。彼らはお互いにイエスの話を聞いていた時「私たちの心は燃えたではないか」と語り合いました。その後、彼は寄るにも拘らず、エルサレムに戻り、11弟子(イエスを裏切ったイスカリオテのユダは自殺してしまった)に復活のイエスと出会ったことを伝えました。

もはや彼らは信仰が萎えた弱い弟子ではありませんでした。イエスが彼らの目の前から消えたのは、彼らに落胆したからではなく、復活のイエスと出会えた彼らはもはやイエスとその場に目に見える姿でいなくても大丈夫、強く雄雄しく福音を語ってくれると信じたからです。

信仰とは「復活のイエス」と出会うことであり「イエスは本当に復活した」と信じていること。その確信が持てた時、私たちはイエスが目に見えなくても、手で触れなくても、「イエスは今もおられ、私たちを見守って下さっている」とその臨在を感じるができるようになります。

また「復活のイエス」と出会った人は変えられ、新しく生まれ変わり、イエスが目に見える形で傍にいらなくても大丈夫、何があっても落胆せず生きていくことができるようになります。そして更に人々に「イエスは生きておられる」という喜びの知らせを宣べ伝えることができるようになります。

イエスは復活された。そして今も私たちを見守っていて下さいます。ハレルヤ！

吉松 純

#### 礼拝予定：

##### 3月

- 24日：棕櫚の聖日、Jr教会、ユース、聖書学び
- 31日：復活祭礼拝、洗礼式、礼拝後、教会社交室にて持ち寄りで祝会

##### 4月

- 7日：聖餐式、ユース、聖書の学び
- 14日：礼拝、ユース、聖書の学び
- 21日：礼拝、ユース、聖書の学び
- 28日：礼拝、ユース、聖書の学び、礼拝後、牧師館にてお祝い（吉松新お披露目、吉松牧師誕生日）

##### 5月

- 5日：聖餐式、ユース、聖書の学び
- 12日：礼拝、母の日のお祝い
- 19日：ペンテコステ（聖霊降臨記念）礼拝、ユース、聖書の学び
- 26日：礼拝、ユース、聖書の学び

#### 感謝と報告

\* 3月16日（土）Neumann University 聖歌隊をゲストに3・11東日本大震災2周年及びハリケーン・サンディー被災者救援のコンサートが持たれました。あいにくの雪模様でしたが、とても素晴らしいコンサートとなりました。1200ドル（3月17日現在）の収益は半分を東日本大震災被災地に、残りをハリケーン・サンディーの被災地に教会を通して送られます。感謝。



Neumann University Concert Chorale



The Good Shepherd Choir

\* 3月13日に吉松純牧師、泉姉に長女、新（サラ、下の写真）が誕生しました。皆様のお祈り、贈り物、お心遣いに心から感謝いたします。



\* 3月31日復活祭礼拝で村富奈津子さんと笠井春菜さんが洗礼を受けられます。現在、二人は高校生でユースやキャンプなど教会のプログラムに積極的に関わっています。お二人が復活の主イエスに出会い、新しい人生を始められることを心からお慶び申し上げます。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先は UMC-JA とし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

- \* 自然災害被害者の為、日本の東日本大震災、
- \* ハーベスト・タイムのミッションの為
- \* 消印のついた切手の周り 1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリト教海外医療協力会 (J O C S) に送ります。J O C S 海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- \* アフリカの恵まれない子供達やエイズの患者の為に特別献金をしています。
- \* パターソンの社会福祉団体 CUMAC/ECHO の為に。CUMAC は合同メソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

復活祭献金の封筒を同封いたします。この献金は教会と教会プログラムの為、東北大震災の継続支援、ハリケーン・サンディーの委細者の為、また上述のプログラム、団体の為に使われます。どうぞご協力下さい

教会の住所：

**UMC-Japanese Ministry**

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス (201) 385-4100

ホームページ：<http://www.umc-japan.org>

[English Website:www.cgs-umc.org](http://www.cgs-umc.org)

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 [jun.yoshimatsu@gmail.com](mailto:jun.yoshimatsu@gmail.com)

教会学校担当：吉松 泉姉

[izumi.yoshimatsu@gmail.com](mailto:izumi.yoshimatsu@gmail.com)